

保育園適正規模等研究委員会 会議報告書

保育園適正規模等研究委員会委員長
教育長職務代理者 吉越 邦榮

1 概要

「飯山市城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議」の検討部会として、城北小学校区の4保育園の保護者及び園長で構成する表題研究委員会を、令和4年7月から令和5年11月までに6回開催し、第6回会議をもって研究委員会が終了しました。

2 研究内容

- ・子どもにとっての保育園とは
- ・保護者にとっての保育園とは
- ・「子どもにとっての保育園」「保護者にとっての保育園」から考える「保育園の適正規模とは」
- ・子どもにとって望ましい保育の在り方

3 主な意見

◎子どもの人数が減少し、混合保育クラスが増えている

保護者：年齢ごとの保育が望ましい。

保育士：成長の差が大きいので、年齢ごとの保育が望ましい。

混合保育にしないと、人数を要する遊びができない。子どもは遊びの中で育つ。

人数が多ければ、関わりや仲直りなどのプロセスも学べる。

◎小規模保育のメリット・デメリット

保護者：子どもの人数が少ないと職員が目が届きやすい。

園児：友達同士の関係性が、良くも悪くもずっと同じになってしまう。

保育士：多様なニーズ(延長保育、通園バス、アレルギー対応等)に一定程度の職員数が必要。

保護者にとっての保育園は、園への預けやすさ(送迎時間・距離・場所等)安心安全な保育園であることが最も重要だと多くの意見で出されました。

4 課題

- ・園児少数のため異年齢児と一緒に保育を受けている。(混合保育)
- ・保育ニーズ(0歳児受け入れ・保育時間延長・休日保育の充実)の多様化。
- ・施設の老朽化。
- ・小規模職場による保育士業務の負担大。
- ・小規模職場のため、若手保育士のベテラン保育士からの学びの機会の減少。
- ・保育士不足により、場合により希望する園に通うことができない園児が生ずるおそれがある。

別紙

1 これまでの開催日時

第1回	令和4年7月14日(木)	午後6時30分～午後8時00分
第2回	令和4年10月13日(木)	午後6時00分～午後7時30分
第3回	令和5年2月7日(火)	午後6時00分～午後7時30分
第4回	令和5年5月31日(水)	午後6時30分～午後8時00分
第5回	令和5年8月28日(水)	午後6時00分～午後7時30分
第6回	令和5年11月29日(水)	午後6時00分～午後7時30分

2 協議内容

- 第1回 今後の検討の進め方について検討、保育園の現状について
- 第2回 研究テーマ「子どもにとっての保育園とは」「保護者にとっての保育園とは」
- 第3回 研究テーマ「子どもにとっての保育園」「保護者にとっての保育園」から考える
「保育園の適正規模とは」
- 第4回 研究テーマ「子どもにとって望ましい保育の在り方」
- 第5回 研究テーマ「社会の変化に応じた保育園の在り方について」
- 第6回 研究内容のまとめ及び新たな組織の立ち上げについて

3 意見、課題等

① 施設、環境について

- ・各保育園いい所はあると思うが、統合するとなった場合、子どもたちが遊びやすく危険のない場所
でという思いがある。
- ・自然と触れ合える環境は作ってほしい。現在、市内どの園も散歩コースや園庭が広く、環境がとて
もよい。
- ・園舎の施設は、今の時代に合っていない。免疫の弱い未満児のことやこれからのことを考えてもら
いたい。
- ・保育園と小中学校は近い方がありがたい。
- ・「通園バスがあっても良いのでは」と思う反面、トラブルが出る可能性もあり心配である。
- ・統合した場合、一番は保護者の送迎が大変にならないようにして欲しい。
- ・保育園を統合するからバス通園するとなっても腑に落ちない。子どもにとって一番だと言うことは
理解しているが、その子どもたちには親がついてきて親が大変な思いをして保育園に預けて仕事を
してまた迎えに行く。今の時間の使い方では難しい。
- ・親にとっては保育園へ預けやすく、安心安全な保育園を最優先に考えていただきたい。

② 再編について

【良い面】

- ・統合すれば保育士の配置についても解決できるのでは。
- ・人数が多ければケンカの中で謝る方法やタイミングを学べて良い面もある。
- ・混合クラスではないほうが良いと思っている。統合した場合のイメージした表を見ると人数が多くなり、手厚いように見えるし、いいイメージがある。表だけを見たら、悪いイメージはしない。
- ・混合ではないほうが良いと思う。それぞれの発達段階に応じた支援をしてもらえるのはいいと思う。混合クラスはできることとできないことの差がある。怪我也多かった。子どもの発達の1年の差は大きく、一緒に過ごす子どもの負担が大きいのではないか。
- ・先生は多ければ多い程みてもらえ、子ども、先生にも、どちらにもいいと思う。この先生に話したいと言っても、先生が忙しく、いつもと違う先生にしか話せなかったということも実際にあった。
- ・子どもはこどもの中で育つ。自発的に生きていく力は、周りの子どもから学ぶ。

【心配な面】

- ・子どもはすぐに慣れるが、統合となると不安な思いをする。統合し保育園が違う場所となると、迎えが遅くなり長時間保育となった場合可哀想。場所は変わらないほうが良い。
- ・小規模園の良さを感じている。仲間の大切さに気付いて、子ども同士で育ちを支えあうことが、社会に出て活躍する大人になる前段階として保育園には必要だと思う。
- ・少人数だから丁寧にみてもらえると思っている保護者が多い。統合して多人数になった時を考えるときちんとみてもらえるのか不安。不安を払拭できるよう発信してほしい。
- ・大人数になると子どもたちの中でグループ化してしまう。みんなで仲良く遊ぶことは少人数の方が良い。
- ・保育園を統合すると保育園から小学校、中学校まで同じ仲間過ごすようになる。保育園まで一緒になったら市外へ行きたいと思う子が増えてしまうのでは。
- ・子どもの数が増えて、子どもがなじめるのかという不安はある。

【どちらともいえない】

- ・望む方向が違って、メリットデメリットあるので少しずつ歩み寄れるとよい。
- ・先生、保護者にとって負担が少ないことが大事。親も子どもも無理がない状態の保育園が一番望ましいのではないかと思う。
- ・子どもはどんな環境になっても適応力があるので、統合しなくてもどちらでもよい。
- ・どこがいい、どこがだめとは言えないが、自分の住んでいる地域でなくても通勤途中にあるといい。
- ・メリットがデメリットにもなる、少人数が良いとか悪いとか決められない。

【その他】

- ・小学校への準備期間として、年長だけ1園にしたらどうか。
- ・最終的には少しずつ合併をしていかななくてはいけないのではないかと思う。
- ・大きく分かれた4地区を統合するのは大変な事だと思う。
人数がそろった方がいろんな育ちが期待できると思うことがあるが、いろんな保育園の良さ、地域の良さもあり、様々な人の意見を集約しどうするのが一番良いのか、考えるのが難しい。

③ 保育士意見

- ・「人との輪が広がる」「多人数だからできることがある」「一人一人のケアを怠ることはない」
- ・子どもの様子を見ていると少人数だから発言できる子、大人数でも発言できる子など様々。人数が多くなれば意見はまとまらないかもしれないが、別の方法を考える。小規模でも大規模でも、子どもが保育園に行きたくなるような保育園であれば保護者のかたも安心して良いのではないか。
- ・園の中をやりくりして、職員配置しているが、職員が正直負担になっていることもある。それが解消される。
- ・大人の気持ちのゆとりが、子どもの心の育ちのゆとりにもつながっていく。余裕のあるのは誰にとってもいいのではないか。保育士、調理員の健康がなければ子どもたちを預かることができない。ゆとりのある適切な配置は、よりよい保育の提供にもつながる。人との出会いは多い方がいい。保育園の時から多くの人と触れ合える環境はおおきな魅力。
- ・人との関わり、コミュニケーションの取り方を学ぶには、ある程度人数がいたほうが良いと思う。
- ・保護者にとっても、保育士にとっても、複数担任で保育できることはデメリットよりメリットのほうが上回る。子どもの安定感にもつながる。